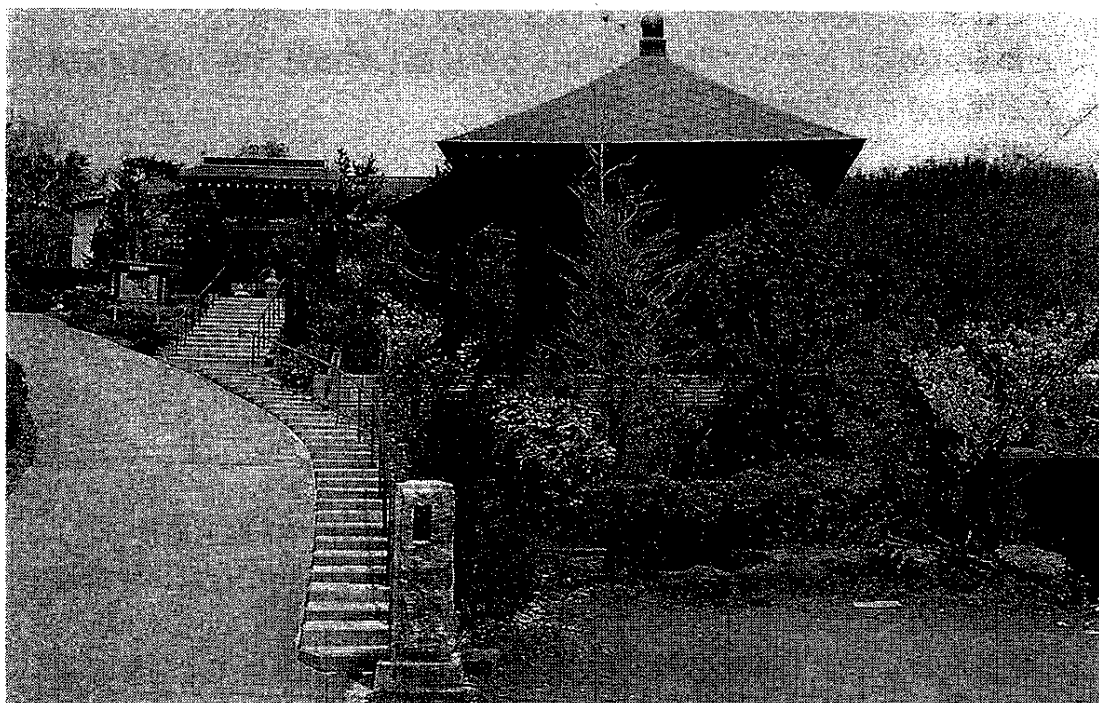


日高の歴史的文化的活用アイデア集

—ひだかの歴史を語る文化・遺産を地域づくり・まちおこしに—



等澗院（「様似町の文化財」より）

平成 13 年（2001）3 月

監修：日高の歴史的文化的活用検討会
発行：北海道日高支庁

発刊のことば

みなさんは、日高支庁管内が北海道内でも古い歴史をもつ地域であることをご存知でしょうか。

アイヌの人々は古くからこの地域に先住し、伝統ある文化を伝え、それを培ってこられましたし、また、和人も約 350 年前にはこの地を訪れていたことが知られており、その後には蝦夷三官寺の筆頭寺や道内で最初に開削された官営道路などの遺産を数多く残しています。

これらの文化・遺産は、私たちにってはあまりにも身近であるため、あるいは、それらの由緒や由来の記憶が薄れてしまったため、その存在をつい忘れがちです。

しかし、地域の歴史を語る文化や遺産を知ることは、活力と魅力ある地域づくりを進めるためにたいへん重要な「地域の誇り」や「郷土愛」を育むものではないでしょうか。近年、このような考え方が徐々に浸透しつつあり、たとえば、ユネスコが展開している「世界遺産」はすでに多くの人々に知られており、北海道でも「北海道遺産」という理念が提案され、現在、その取り組みが進められているところです。

このような中、日高支庁では個性あふれる豊かな地域づくりのために、さまざまな可能性を秘めた「日高の歴史的文化遺産」を地域の資源として有効に活用するための方策を検討することとし、平成 11 年度から支庁の独自施策として「日高の歴史的文化活用事業」に取り組んできました。この事業を進めるに当たっては、日高の歴史や文化に詳しい方々にお集まりいただいて「日高の歴史的文化活用検討会」を設け、当管内の歴史的な文化や遺産の掘り起こし、また、それらを地域づくりに活用するためのアイデアの検討を進めてきました。その成果を取りまとめたものがこのアイデア集です。

これらのアイデアは、地域の歴史ある文化や遺産を活用して地域づくりを進めていくための小さなヒントとなればとの思いから提案されたものです。どうぞご自由にお使いいただき、みなさんの応用力と行動力によって、これらのアイデアから具体的で新たな活動が生まれてくることを願っております。

最後になりますが、この事業の実施に当たっては、検討会委員の皆さん、各町の職員の皆さんをはじめ、多くの地域の方々からのご尽力、ご協力をいただきました。心から厚くお礼申し上げます。

北海道日高支庁長 辻 義 和

監修にあたって

今となってみますと地域活性化の推進事業として、この二年間、日高全域の、いわば歴史文化・遺産に触れる機会を持てたことに、心からの感謝を禁じ得ません。町おこし、地域おこしの発想の原点が必ずしも、すべてこれらから発しているわけではありませんが、少なくともそれは必要条件ではあるはずで

そこで、“日高の歴史的文化的活用検討会”では、まず歴史的文化的資源蒐集に取りかかりました。5,000年以上に及ぶ日高の人間の営みのなかで、生活の些事から、精神世界に至るまでの人間の営みの全てが資源であるわけです。

これを、リスト化する作業が最初の仕事になりました。担当の環境生活課の職員がこれに当たったのですが、管内9町の町史を通読するところから、その項目を拾い上げる作業をはじめたわけです。

さらにその欠を補うために、各町が発行するパンフレットや小冊子、日高支庁が発行したこれまでの地域史誌、さらには北海道で発行された諸誌の日高に関するものすべてに眼を通すという徹底ぶり。そこで拾い出された数々の項目が原資料としてわたしたちの前に供されたわけです。

1000項目に及ぶこれらのリストを丹念に目を通してゆくと、有形、無形、現存、伝承、分野、所在地、年代はコード化され、その上、由緒由来と文献資料名が加えられています。残念でしたが、重複するもの、繁雑に過ぎるもの、重要度の低いものは割愛せざるを得ませんでした。最終的に400項目前後にしたかったからです。

苦労してまとめた資源リストはひとつひとつが刺激的です。しかし、リストはあくまでもリストであって、これがどう活用されるかがいわば勝負です。それがこの活用アイデア集のねらいであるわけで、散策路を考える、マラソンコースを考える、ミニトラベルを組んでみる、根無し草ではないイベントを考える、野外学習を考える、趣味で何か調べてみる、ガイドブックの手がかりを探す、作曲やシナリオの題材を探す、データベースとして利用する etc…、なんでもあり、です。

遊び、学習、イベント、研究の様々なヒントやきっかけをそこから見つけることができるはずで

す。1枚のCD-ROMから多彩な世界が広がるはずで

す。これ以上を望む方は、どうぞ該当の教育委員会や郷土館にお尋ねください。もっと詳しい資料を手にするはずで

す。項目の捨捨選択や内容や年次について、誤認や間違いがあるかも知れませんが、それは当検討会の検討不足ということになります。時間の不足と、活用に重点があるということ

で寛恕願えたら幸甚です。

日高の歴史的文化的活用検討会

座長 高 田 則 雄

目 次

I	ひだかの歴史的文化を活用した地域づくり・まちおこしのすすめ	1
II	ひだかの歴史的文化の情報を総合化するために	2
	○資源リストの作成	
III	ひだかの歴史的文化に関する情報を広く提供するために	3
	○総合情報を全体的に網羅して提供するアイデア	
	1 「ひだかの歴史文化大百科」	3
	2 「ひだかの歴史文化めぐりガイドブック」	5
	3 「ひだかの歴史文化マップ」	7
	○誰にでもわかりやすく親しみやすい形で提供するアイデア	
	4 「ひだかの歴史文化マンガ・絵本・紙芝居」	8
	5 「ひだかの歴史文化ロールプレイングゲーム」	9
	6 「ひだかの歴史写真集」	10
	○特定の切り口から情報を整理して提供するアイデア	
	7 「ひだかの絵馬・献額展」	11
	8 「ひだかの人物伝」	12
	○さまざまなデジタル媒体を活用して提供するアイデア	
	9 「文献・写真資料・映像等のデジタル化」	13
	10 「ひだかの歴史文化ホームページ」	14
	11 「日高の歴史的文化的活用資源データベース」	15
	○自らが経験する形で提供するアイデア	
	12 「ひだかの歴史文化実体験」	16
IV	日高の歴史的文化遺産を能動的に活用するために	18
	○歴史的文化などを伝承するアイデア	
	13 「ひだかのヘリテイジガイド（歴史案内人）バンク」	18
	14 「ひだかの語り部バンク」	20

○情報を発信することができるイベントのアイデア	
15「ひだかの歴史文化ベスト10」	21
16「ひだかの歴史文化展」	22
17「ひだかの歴史ミュージカル・演劇」	23
○地域住民などの参加を促すイベントのアイデア	
18「ひだかの歴史問答の旅」	24
19「ひだかの歴史文化ウォーキング」	25
20「ひだか歴史の船旅」	27
21「ひだかのふるさと探検隊」	28
○観光事業などへの活用が可能なアイデア	
22「ひだかの歴史文化再発見ツアー」	29
23「歴史的建造物の復元活用」	31
24「ひだかの歴史文化セルフガイドシステム」	33
○活用資源の価値と保全の豊富を学ぶためのアイデア	
25「ひだかの歴史文化の保全と活用セミナー」	34
○地域づくり・まちづくりを目的としたアイデア	
26「ひだかの歴史文化活用ネットワーク」	35
27「ひだかの歴史エコミュージアム」	37
V 資料編	39
○日高の歴史的文化活用事業の経過について	39
○日高の山道シンポジウムについて	40
○日高の歴史的文化活用資源リストについて	49
☆「日高の歴史的文化活用資源リスト」	
☆「日高の歴史的文化・遺産に関する参考資料一覧」	

I ひだかの歴史的文化を活用した地域づくり・まちおこしのすすめ

日高管内において地域づくりやまちづくりに活用するための「地域資源」としては、軽種馬や乗馬など馬に関連する産業や、日高昆布や鮭（平成12年12月に日高定置漁業者組合が日高産秋鮭のネーミングを公募したところ「銀聖」と名づけられたそうです。）などに代表される水産業、そして、日高山脈を中心とした豊かな自然環境などがあげられ、これらを活用した取り組みが数多く行われています。

また、新冠町の「レ・コード館」やえりも町の「風の館」、日高町の「日高山脈館」などの「心の豊かさ」や「地域の個性」を生かしたさまざまな文化施設の整備が進み、これらが地域文化の新しい発信源となっています。

しかし、これらのほかにも「地域資源」として活用できるものはないでしょうか。

日高では古くから人間の生活が営まれ、その歴史の中で培われてきた独特な文化や遺産が残されています。これらの「歴史的文化・遺産」に対する意識や関心は学術的な面のみが強くなっていますが、視点を変えることによって様々な可能性を見出すことができます。私たちは、これらの「歴史的文化・遺産」を日高の個性あふれる地域づくりのもう一つの資源として活かすことが大事であり、また、可能であると考えています。

「日高の歴史的文化・資産」を地域資源として活用するためには、まず、「日高管内にどのような歴史的文化・遺産があるのか、また、あったのか」、さらに、「それらにはどのような由緒や由来があり、どのような価値があるのか」を再発見することが必要です。そして、さまざまな形で残されている多様な情報を総合的に整理して比較検討ができるようにし、それらを地域に住む多くの人々に提供することによって、日高の歴史的文化・遺産の価値を再認識してもらう必要があります。

また、これらの歴史的文化遺産を地域づくりやまちづくりのために「能動的に活用する具体的な方策を検討し、それを実践すること」が必要です。地域で行われているさまざまな取り組みの情報を収集し、応用できるかどうか、また、日高の特色を活かした独自の取り組みを企画することができるかを検討し、より具体的・実地的なものとして実現していく必要があります。

このようにして生まれたさまざまな活動は、他の地域資源と組み合わせることにより、日高の魅力を高め、地域の人々にとっては自らの地域への誇りや愛着心、創造への意欲などを導き出し、地域づくりや地域の活性化につながるでしょうし、他の地域から日高を訪れる人にとっては、多様で深みのある個性的な日高を提供し、心身ともに豊かな満足を与えることにつながるのではないのでしょうか。

私たちは、地域のみなさんに「歴史的文化・遺産を活用した地域づくり」を提唱します。

そして、次の章からは、「活用資源情報の総合化」や「資源情報の提供」による歴史的文化遺産の再発見とそれらの「能動的な活用」について、上記の考え方に基づいて検討したさまざまなアイデアを紹介しますので、みなさんの地域づくり、まちづくり活動に広く応用するためのヒントとしていただくことを期待しています。

II ひだかの歴史的文化的情報を総合化するために

日高管内の歴史に関する文献や書物などとしては、「日高開発史」や「各町の町史」など管内全般に関する歴史やそれぞれの町の歴史について広く全般的に整理されたもの、また、人物や事件、石碑や寺社など個々のテーマを掘り下げて調べられたものなどがあります。

しかし、それらに記載されている情報も時代の移り変わりによって重点が偏っていたり、古くなったりしているのが現状であり、今日的な視点で歴史的文化的な地域資源として捕らえたものではなく、必ずしも網羅的ではありません。

このようなことから、できる限りさまざまな種類の資料から地域資源として捕らえ得る管内の歴史的文化的な情報を再収集し、それらを可能な限り同じフォーマット（様式、型式）に整理するなどして、歴史的文化的情報の総合化を図ることが、第一に着手すべき基本的作業です。

○資源リストの作成

活用資源の情報の総合化を図る最もシンプルな方法として、必要な項目を設けたそれらのリストを作成することとしました。本書Ⅳ資料編に「日高の歴史的文化的活用資源リスト」として掲載してあります。

このリストは、同編の「日高の歴史的文化的・遺産に関する資料リスト」に掲載の各種文献やホームページ、各社新聞などから、日高管内の歴史とそれに関わる文化や遺産の状況や由緒・由来についての情報を入手し、できるかぎり客観的に整理したものです。これが、次章以下のアイデアを実践する際の基礎データとなります。

なお、このリストに掲載した対象の考え方やデータの掲載方針などについては、「日高の歴史的文化的活用資源リストについて」を参照してください。

また、このリストは、コンピューターの集計ソフト「Microsoft Excel 2000」を利用した「データベース（→アイデアNo.11）」として、別添のCD-Rに収録しました。

任意のキーワードやデータコードにより、必要な情報を簡単に検索することができますし、ほとんど生データの状態で複雑な計算式なども用いていないので、皆さんのニーズに応じて追加や訂正も含めて自由に加工して、日頃の業務やさまざまな活動に活用してください。ちなみに一番簡単な検索の方法を紹介します。

☆「キーワード」による検索

ツールバーの「編集」→「検索」をクリックし、「検索する文字列」欄に任意のキーワードを入力して、「次を検索」をクリックすれば、キーワードが掲載されているデータにカーソルが自動的に移動します。

☆「オートフィルター」による検索

見出し欄にある回ボタンをクリックすると、その列に掲載されているデータが表示されますので、検索したいものをクリックすると、そのデータに関連するものが抽出され、表示されます。

また、元に戻したい場合は、ツールバーの「データ」→「フィルター」→「全て表示」をクリックすると全てのデータが表示されます。

コードがわからない場合は、表の左下にある「コード表」のタグをクリックするとコード表が表示されます。

V 資料編

○日高の歴史的文化的活用事業の経過について

平成 10 年 (1998 年)

- 4 月 13 日 静内町で「知事の市町村訪問『ふれあいトーク』」が開催され、「地域の歴史と文化を学び、そこから生まれてくる観光資源の活用と共存の取り組み」が話題となる。
- 11 月 5 日 静内町で「『日高 109』日高地域道民円卓会議」が開催され、日高支庁管内の歴史的文化的現状や地域づくりに活用するための課題、地域資源としての活用方法などについて話し合われ、これをきっかけに、日高の歴史的文化的掘り起こしと地域づくりに活用するための事業を「日高支庁独自政策」として実施することとする。

平成 11 年 (1999 年)

- 4 月 22 日 地域の有識者による「日高の歴史的文化的活用検討会」を設置する。
- 4 月 28 日 日高の歴史的文化的活用検討会を開催し、日高の歴史的文化的活用方策及び活用事業の内容や発掘調査の実施方法等に関する方向性について検討し、「アイデア集」と「活用資源リスト」を作成することとする。
- 8 月 26 日 日高の歴史的文化的活用検討会を開催し、日高の歴史的文化的活用するための具体的な方策及び事業の検討と活用資源のリストアップを行う。

平成 12 年 (2000 年)

- 3 月 14 日 江差町における「歴史を生かしたまちづくりネットワーク事業」、「歴史的建造物保全対策事業」及び「歴史的な文化や遺産を活用した地域づくりの事例」について、先進事例調査を行う。
- 3 月 21 日 日高の歴史的文化的活用検討会を開催し、「日高の歴史的文化的活用資源リスト」の内容及び平成 12 年度における事業の計画について検討を行う。
- 3 月 29 日 岡山県津山市における「津山・城西まるごと博物館」について、先進事例調査を行う。
- 4 月 18 日 関係者による打合せ会議を開催し、日高の歴史的文化的活用したアイデアの実践として、「日高の山道シンポジウム」及び「日高の山道を歩く会」の実施を決定する。
- 5 月 13 日 えりも町で「日高の山道シンポジウム PART1」を開催する。東蝦夷地の山道をテーマとした講演、パネルディスカッション及び「猿留山道を歩く会」を実施する。
- 14 日
- 10 月 14 日 様似町で「日高の山道シンポジウム PART2」を開催する。北海道の山道に歴史に関する講演、様似町内の歴史見学会及び「様似山道を歩く会」を実施する。
- 15 日

平成 13 年 (2001 年)

- 1 月 30 日 日高の歴史的文化的活用検討会を開催し、「日高の歴史的文化的活用アイデア集」に掲載する活用方策及び活用資源リストの内容について検討する。
- 2 月 16 日 日高の歴史的文化的活用検討会を開催し、「日高の歴史的文化的活用アイデア集」に掲載する活用方策及び活用資源リストの内容について検討する。
- 2 月 26 日 日高の歴史的文化的活用検討会を開催し、「日高の歴史的文化的活用アイデア集」の最終案を取りまとめる。
- 3 月 「日高の歴史的文化的活用アイデア集」発行。

日高の歴史的文化的活用アイデア集

—ひだかの歴史を語る文化・遺産を地域づくり・まちおこしに—

監 修：日高の歴史的文化的活用検討会

発 行：平成 13 年（2001）3 月 北海道日高支庁

<この資料に関するお問合せは>

北海道日高支庁地域政策部環境生活課道民生活係

〒057-8558 浦河郡浦河町栄丘東通 56 号

Tel 01462-2-2211（内線 2964）

Fax 01462-2-7516

E-mail hidaka.dominseikatu@pref.hokkaido.jp